

ぶらっと散策4

垂水コース

令和6（2024）年1月18日（木）

9時50分 JR垂水駅に集合

10時に小雨が降るなかを出発、全行程で傘をさしての移動となりました。

（写真も鮮明さに欠けています。）

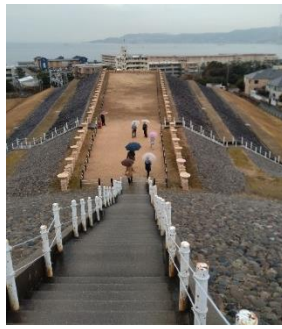
（行程）五色塚古墳→舞子公園、旧武藤山治邸・孫文記念館→班毎に昼食、班別活動



五色塚古墳（ごしきづかこふん）、別名、千壺（せんつぼ）古墳

古墳域は、1921年（大正10年）に小壺古墳の古墳域と合わせて国の史跡に指定されています。4世紀後半に築かれた五色塚古墳は、全長194mを誇る兵庫県下最大の前方後円墳です。日本で最初に復元整備が行われ、築造当時の雄大かつ高度な古代の土木技術と葺石や埴輪を体験できました。

古墳の上まで歩道が整備されており、上に登ることができるので古墳の上からは淡路島や明石海峡大橋を一望できる絶景スポットです。……の筈でしたが雨のため、明石海峡大橋・淡路島はかすんでいました。



神戸公式観光サイト

旧武藤山治邸（きゅうむとうさんじてい）

鐘紡の中興の祖と言われ、衆議院議員としても活躍した武藤山治（1867年～1934年）が、明治40年に舞子海岸に建てた住宅です。木造2階建の円形バルコニー、スレート葺の屋根・下見板張りの外壁が特徴の大熊喜邦の設計による洋館です。

武藤山治が亡くなった後は、鐘淵紡績（株）により「鐘紡舞子倶楽部」として厚生施設に利用されてきました。

平成19年に兵庫県は、建物と共に家具・絵画および蔵書等調度品についてカネボウ（株）より寄贈を



受け、当初所在地に近い県立舞子公園への移築・修復工事を行いました。この移築・修復工事の竣工により、舞子浜を代表する昔日をしのぶ松林と調和した海峡風景を楽しみ、明治期の往年の別荘文化、西洋館の生活様式をありのままに知ることができる、舞子公園の名所です。平成23年7月に登録有形文化財に登録されています。



孫文記念館（そんぶんきねんかん）

辛亥革命の父と仰がれる孫文（孫中山、1866～1925）を顕彰する日本で唯一の博物館として1984年に開設されました。孫文と神戸の関係や呉錦堂の生涯についての資料を展示しています。建物は、華僑の貿易商で相場師の呉錦堂（1855年～1926年）の舞子海岸にあった別荘「松海別荘」内に1915年に建てられた八角形の中国式楼閣「移情閣」（六角に見えることから六角堂と通称される）と付属棟などです。建物は1890年代に現在の付属棟が建てられ、移情閣等が大正時代に新たに建てられました。舞子公園内には2000年に移築されました。

孫文を顕彰する日本唯一の施設であり、現存する日本最古級の木骨コンクリートブロック造の建造物で国の重要文化財に指定されています。



「夢レンズ」



明石海峡大橋生みの親の顕彰碑

明石海峡大橋の生みの親である原口忠次郎博士（第12代神戸市長）の偉業を称え、明石海峡大橋架橋5周年にあたり、記念の碑が建立されました。

三種の異なった岩肌によるメビウスの輪は人、自然、科学を、そして明石海峡大橋が結んだ本州、淡路、四国を表しています。



舞子公園イラストマップ



午後は、班別に昼食その後班別行動です。

4班は、午後には雨が強くなるとの天気予報により、「橋の科学館」を横目で見、「舞子海上プロムナード」を上目で見、JR 舞子駅から元町へ移動。

元町商店街と南京町周辺を、ぶらっと散策、ランチをいただいて散会となりました。

(担当4班)



ランチ・デザート
ごちそうさまでした